



第15回上田八木・金融政策サーベイ(2017年10月)の結果について

～10月のMPM予想は回答者の99%が政策変更なしの見方。金利予想は概ね不変を予想。出口開始時期は今から1年未満との見方が4%へ減少(前回7%)。

2017年10月27日(金)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

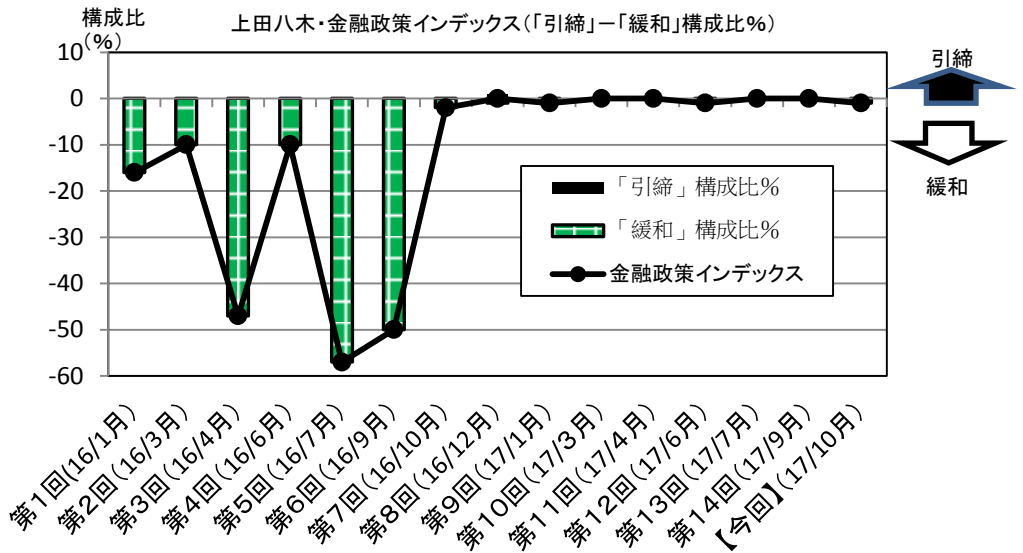
- 回答者(180先)の99%が10月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 金利予想はどの年限も概ね不変を予想しているが、10年国債金利予想DIは+10となり8%ポイント減少。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年未満」の見方が4%と前回(7%)より減少、「3年以上」の見方が33%と前回(29%)より増加。

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(197先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2017年10月24日～26日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	91.3% (回答者数180先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月30日～10月31日)における決定について



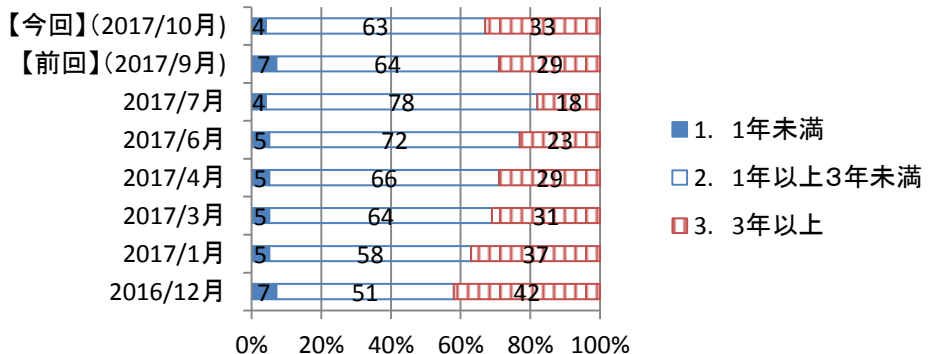
回答者の99%が「不変」の見方(前回は100%が不変の見方)。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲1だった(前回0%→今回▲1%)。

(ご参考)

【今回8回目となる追加質問: Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

3年以上と回答する先が33%に上昇(前回29%)。

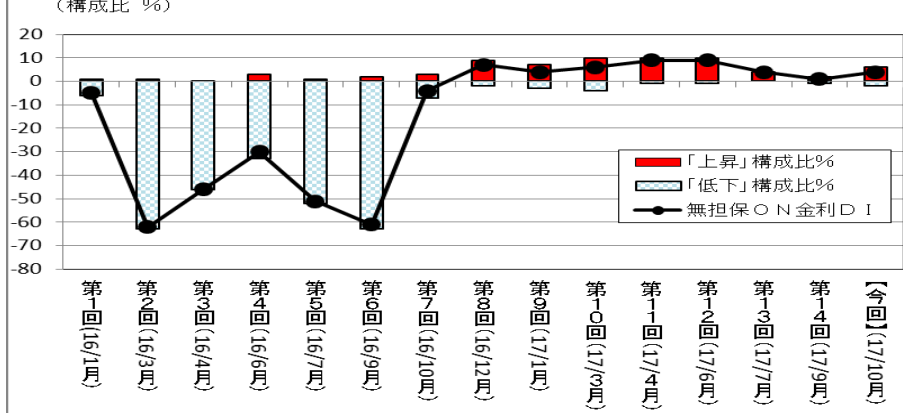


(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の92%が「不変」と予想。2%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は6%だった。

前回との比較では、「低下」とみる先は+1%ポイント(前回1%→今回2%)。「不変」とみる先が▲5%ポイント(前回97%→今回92%)。「上昇」とみる先は+4%ポイント(前回2%→今回6%)。

3か月先の無担保コールON金利(「上昇」-「低下」構成比%)



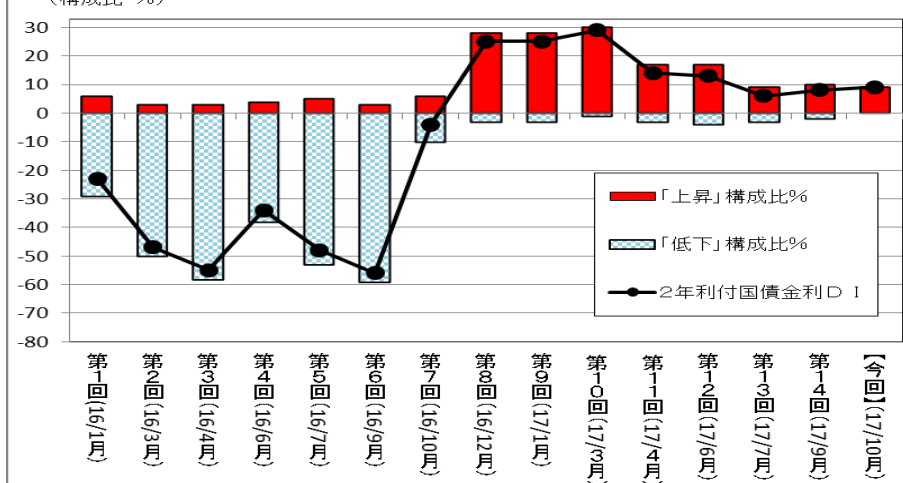
上昇
↓
低下

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の91%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者0%。「上昇」を予想した先は9%であった。

前回との比較では、「低下」とみる先は▲2%ポイント(前回2%→今回0%)。「不変」とみる先は+3%ポイント(前回88%→今回91%)。「上昇」とみる先は▲1%ポイント(前回10%→今回9%)。

3か月先の「2年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



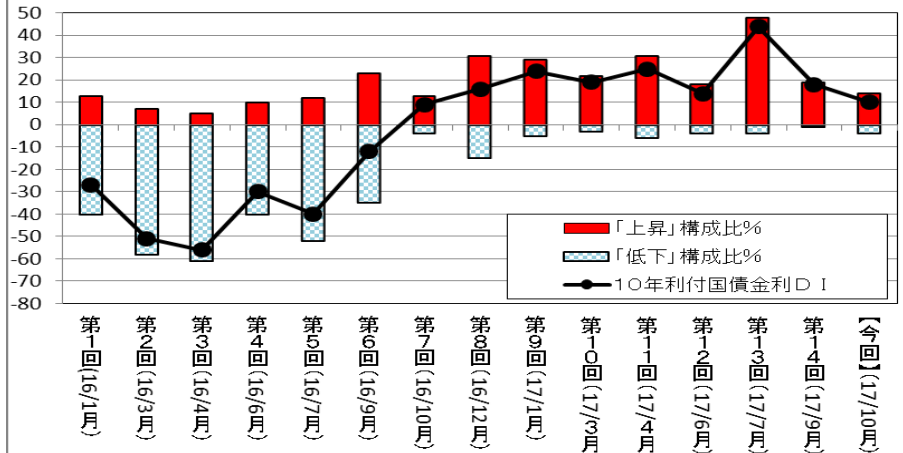
上昇
↓
低下

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の82%が「不変」を予想。4%が「低下」、「上昇」を予想した先は14%。

前回との比較では、「低下」とみる先は+3%ポイント(前回1%→今回4%)。「不変」とみる先は+2%ポイント(前回80%→今回82%)。「上昇」とみる先は▲5%ポイント(前回19%→今回14%)。

3か月先の「10年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



上昇
↓
低下

【本調査に関する照会先】
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)